

## その他の学術著作物

相馬啓子, 國弘幸伸 (2016) [外リンパ瘻診療の新しい展開] 外リンパ瘻関連疾患 外リンパ瘻と脳脊髄液減少症 (解説/特集). 耳喉頭頸 88: 758-63

相馬啓子 (2016) [外来に必須! 外用薬の上手な使い方] 口腔・咽喉頭領域 歯周病治療用軟膏 (解説/特集). 耳喉頭頸 88: 952-5

## 学会発表

第117回日本耳鼻咽喉科学会 (名古屋) 2016年 5 月  
脳脊髄液減少症の診断 問診と各種検査の進め方:  
國弘幸伸, 相馬啓子

第117回日本耳鼻咽喉科学会 (名古屋) 2016年 5 月  
当院における超音波検査と甲状腺穿刺吸引細胞診 (FNAC) についての検討: 島貫茉莉江, 佐藤陽一郎, 戸塚大輔, 中原奈々, 相馬啓子

第78回耳鼻咽喉科臨床学会 (鹿児島) 2016年 6 月  
耳下腺腫瘍における穿刺吸引細胞診 (FNAC) の有用性とその限界: 戸塚大輔, 佐藤陽一郎, 相馬啓子

第16回日本抗加齢医学会総会 (横浜) 2016年 6 月  
加齢性難聴における難聴耳鳴に対して補聴器による TRT (Tinnitus Retraining Therapy) を施行した症例の治療経過について: 伊藤まり, 相馬啓子, 岡本康秀, 神崎 晶, 小川 郁

第75回めまい平衡医学会 (大阪) 2016年10月  
ENG における Square wave jerks 症例の検討:  
相馬啓子, 國弘幸伸

第75回めまい平衡医学会 (大阪) 2016年10月  
脳脊髄液減少症の病態に関する一考察: 國弘幸伸, 相馬啓子

第75回めまい平衡医学会 (大阪) 2016年10月  
被験者の姿勢・重心位置が足踏み検査の回転方向・回転角に及ぼす影響: 安田知久, 衛藤憲人, 荒木康智, 相馬啓子, 國弘幸伸

## 講演

松本歯科大学 大学・地域連携事業シンポジウム (塩尻) 2016年 7 月

「長野県の摂食機能リハビリテーションの現状と未来」松本歯科大学病院における医科歯科連携: 相馬啓子

第12回長野摂食・嚥下リハビリテーション研究会 (塩尻) 2016年12月

「誤嚥性肺炎の診断・治療と看護」嚥下障害・誤嚥に対する手術療法: 相馬啓子

## 総合歯科医学研究所

## 硬組織疾患制御再建学部門

## 形態解析学ユニット

## 論文発表

Sahara N, Moriyama K, Iida M and Watanabe S (2016) Time and order of eruption of first functional teeth in the upper jaw of post-larval life of *Sicyopterus japonicus* (Gobiidae: Sicydiinae) during cranial metamorphosis at the time of river recruitment. Arch Oral Biol 66: 8-14

## 学会発表

日本骨代謝学会 (第34回) 2016年 7 月  
骨髄間葉系細胞における CD91 の機能的役割: 二宮 禎, 細矢明宏 (抄録集: p225)

歯科基礎医学会 (第58回) 2016年 8 月  
抜歯痕修復における間葉系幹細胞の CD91 の機能的役割: 二宮 禎, 細矢明宏, 中村浩彰 (抄録集: p347)

## 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

二宮 禎, 小出雅則, 平賀 徹, 中村浩彰: 細胞間ミトコンドリア輸送因子 RhoT1 の歯周組織修復に対する機能解析 (基盤研究 C)

平賀 徹, 二宮 禎, 細矢明宏: がん幹細胞マーカー分子 EpCAM の骨転移に対する機能的役割 (基盤研究 C)

小出雅則, 二宮 禎, 宇田川信之: 歯槽骨吸収モデルを用いた RANK 様ペプチドによる骨再生の試み (基盤研究 C)

山下照仁, 二宮 禎, 高橋直之: 骨細胞への最終分化を方向付ける決定因子の探索 (基盤研究 C)

中村浩彰, 堀部寛治, 細矢明宏, 二宮 禎: M2マクロファージの修復象牙質形成への関与と新規歯髄再生療法の開発 (挑戦的萌芽研究)

雪田 聡, 茶山和敏, 中村浩彰, 二宮 禎: 母乳中ケモカイン CCL25 が有する新生児期の骨形成促進効果のメカニズム (挑戦的萌芽研究)

## 硬組織疾患制御再建学部門

## 硬組織機能解析学ユニット

## 著 書

高橋直之 (分担執筆) (2016) 第9章 骨と脳・神経・臓器・筋肉の相互作用：新骨の科学，第2版，p239–46，須田立雄，小澤英浩，高橋榮明編，医歯薬出版，東京

高橋直之 (分担執筆) (2016) 第1章 破骨細胞の起源と分化経路：ファーマナビゲーター抗RANKL抗体編，p28–35，松本俊夫，田中 栄編，メディカルレビュー社，東京

宇田川信之，小出雅則，中村美どり (分担執筆) (2016) 第2章 5歯周病モデル動物におけるRANKL療法：ファーマナビゲーター抗RANKL抗体編，p152–9，松本俊夫，田中 栄編，メディカルレビュー社，東京

## 論文発表

Thirukonda GJ, Uehara S, Nakayama T, Yamashita T, Nakamura Y, Mizoguchi T, Takahashi N, Yagami K, Udagawa N and Kobayashi Y (2016) The dynamin inhibitor dynasore inhibits bone resorption by rapidly disrupting actin rings of osteoclasts. *J Bone Miner Metab* **34** : 395–405

Kobayashi Y, Uehara S, Udagawa N and Takahashi N (2016) Regulation of bone metabolism by Wnt signals. *J Biochem* **159** : 387–92

Akiyama N, Takizawa N, Miyauchi M, Yanai H, Tateishi R, Shinzawa M, Yoshinaga R, Kurihara M, Demizu Y, Yasuda H, Yagi S, Wu G, Matsumoto M, Sakamoto R, Yoshida N, Penninger JM, Kobayashi Y, Inoue J and Akiyama T (2016) Identification of embryonic precursor cells that differentiate into thymic epithelial cells expressing autoimmune regulator. *J Exp Med* **213** : 1441–58

Weivoda MM, Ruan M, Hachfeld CM, Pederson L, Howe A, Davey RA, Zajac JD, Kobayashi Y, Williams BO, Westendorf JJ, Khosla S and Oursler MJ (2016) Wnt signaling inhibits osteoclast differentiation by activating canonical and noncanonical cAMP/PKA pathways. *J Bone Miner Res* **31** : 65–75

Mass E, Ballesteros I, Farlik M, Halbritter F, Günther P, Crozet L, Jacome-Galarza CE, Händler K, Klughammer J, Kobayashi Y, Gomez-Perdiguerro E, Schultze JL, Beyer M, Bock C and Geissmann F (2016) Specification of tissue-resident macrophages during organogenesis. *Science* **353** : aaf4238

Ito K, Turcotte R, Cui J, Zimmerman SE, Pinho

S, Mizoguchi T, Arai F, Runnels JM, Alt C, Teruya-Feldstein J, Mar JC, Singh R, Suda T, Lin CP, Frenette PS and Ito K (2016) Self-renewal of a purified Tie2+ hematopoietic stem cell population relies on mitochondrial clearance. *Science* **354** : 1156–60

Iwamoto Y, Uchida K, Sugino N, Kuroiwa H, Kitamura Y, Udagawa N, Shinohara A, Higashi Y and Taguchi A (2016) Osteoporosis, osteoporotic fractures, and carotid artery calcification detected on panoramic radiographs in Japanese men and women. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol* **121** : 673–80

Hao Y, Tsuruda T, Sekita-Hatakeyama Y, Kurogi S, Kubo K, Sakamoto S, Nakamura M, Udagawa N, Sekimoto T, Hatakeyama K, Chosa E, Asada Y and Kitamura K (2016) Cardiac hypertrophy is exacerbated in aged mice lacking the osteoprotegerin gene. *Cardiovasc Res* **110** : 62–72

Tsuruda T, Sekita-Hatakeyama Y, Hao Y, Sakamoto S, Kurogi S, Nakamura M, Udagawa N, Funamoto T, Sekimoto T, Hatakeyama K, Chosa E, Kato J, Asada Y and Kitamura K (2016) Angiotensin II stimulation of cardiac hypertrophy and functional decompensation in osteoprotegerin-deficient mice. *Hypertension* **67** : 848–56

Sugamori Y, Mise-Omata S, Maeda C, Aoki S, Tabata Y, Murali R, Yasuda H, Udagawa N, Suzuki H, Honma M and Aoki K (2016) Peptide drugs accelerate BMP-2-induced calvarial bone regeneration and stimulate osteoblast differentiation through mTORC1 signaling. *Bioessays* **38** : 717–25

堀部寛治，中道裕子，中村美どり，高橋直之，宇田川信之，中村浩彰，菊池孝信，平野隆雄，佐藤敦子，太田浩一 (2016) マコモタケ由来成分による抗炎症作用. *松本歯学* **42** : 10–5

## その他学術著作物

高橋直之 (2016) 歯周炎において歯槽骨吸収はどのように引き起こされるか. *日本歯科医師会雑誌* **69** : 109–17

高橋直之，中道裕子，宇田川信之 (2016) ビタミンDによる骨代謝調節. *THE BONE* **30** : 323–8

宇田川信之，小出雅則，溝口利英，中村美どり，下平滋隆，田口 明 (2016) 骨はダイナミックに躍動している. *日本顎交合学会誌* **36** : 161–70

中村美どり，小出雅則，宇田川信之 (2016) ビスホスホネート薬の薬物動態. *CLINICAL CALCIUM* **26** : 1561–70

小出雅則，宇田川信之 (2016) 骨リモデリングの制御機構，第9章 スクレロスタチンによる骨リモデ

リング制御. THE BONE 30:169-73

中村美どり, 中道裕子, 小出雅則, 宇田川信之 (2016) 骨リモデリングの制御機構, 第10章 オステオプロテグリンによる骨リモデリング制御. THE BONE 30:175-80

中道裕子, 高橋直之, 宇田川信之 (2016) 歯髄細胞に関する分子生物学的研究. 腎と骨代謝 29:31-40

宇田川信之 (2016) ASBMR 2016トピックス〜基礎研究 (破骨細胞・骨吸収関連). CLINICAL CALCIUM 27:128-32

### 招待講演

SKIP (Stem cell Knowledge and Information Portal) セミナー (第26回) 2016年2月

細胞系譜解析による生体内における骨髄間葉系幹細胞の同定と機能解明: 溝口利英

第29回日本軟骨代謝学会 2016年2月

発生過程における骨髄間葉系幹細胞の起源: 溝口利英

口腔医科学フロンティア研究会 (第1回) 2016年2月

細胞系譜解析による生体内における骨髄間葉系幹細胞の同定と機能解明: 溝口利英

第4回長野県歯科インプラントネットワークミーティング 2016年3月

再生医療新法 (再生医療等の安全性の確保等に関する法律) 施行の現状: 宇田川信之

松本歯科大学校友会東京都支部学術講演会 2016年4月

骨再生の基礎研究から臨床応用への道: 宇田川信之

第30回骨代謝研究会 2016年6月

Wnt シグナルによる骨吸収制御機構: 小林泰浩

日本炎症再生医学会 (第37回) 2016年6月

細胞系譜解析による生体内における骨髄間葉系幹細胞の同定と機能解明: 溝口利英

神奈川歯科大学大学院開設40周年記念シンポジウム (横浜) 2016年7月

私立大学歯学研究科における人材養成目的と学位授与方針: 高橋直之

第3回25(OH)Dを考える会 2016年8月

25(OH)DによるCa代謝調節における骨芽細胞系列のVDRの役割: 中道裕子, 高橋直之

日本骨代謝学会 (第34回) 2016年7月

破骨細胞と骨芽細胞の起源: 溝口利英

第13回 Bone Biology Forum 2016年8月

Regulation of bone resorption by Wnt signals: Kobayashi Y

第2回 Neo Vitamin D Workshop 学術集会 2016年8月

骨芽細胞特異的VDR欠損および破骨細胞特異的VDR欠損マウスの表現型〜VDR cKOマウスを用いたエルデカルシトール (ELD) の作用効果の解析: 中道裕子

細胞系譜解析による生体内における骨髄間葉系幹細胞の解析: 溝口利英

Craniofacial and Stem Cell Biology Seminar (第2回) ECM Society (第153回) 2016年10月

生体内における骨髄間葉系幹細胞の同定と制御機構の解析: 溝口利英

第302回東京歯科大学学会総会 2016年10月

骨は生きている—骨吸収と骨形成のカップリング機構—: 宇田川信之

Dentistry, Quo Vadis? (東京) 2016年12月

細菌と骨代謝: 高橋直之

日本私立歯科大学協会第11回教務研修会 2016年12月

歯学教育の現状と課題: 宇田川信之

### 学会発表

日本骨免疫学会ウインターセミナー (第1回) 2016年1月

PTHアナボリック作用に対する骨髄間葉系幹細胞の寄与: 楊 孟雨, 溝口利英, 西田大輔, 小林泰浩, 松尾光一, 下田耕治, 宇田川信之, 高橋直之

生体内における骨髄間葉系幹細胞の骨芽細胞分化機構: 溝口利英, 楊 孟雨, 荒井 敦, 小守壽文, 森石武史, 小守寿人, 宇田川信之, 高橋直之

オステオプロテグリン欠損マウスに対するカテプシンK阻害剤投与実験: 宇田川信之, 中村美どり, 中道裕子, 溝口利英, 小林泰浩, 高橋直之

活性型ビタミンDによる骨量上昇の薬理作用は, 骨芽細胞系列のビタミンD受容体 (VDR) を介して発揮される: 中道裕子, 溝口利英, 山本陽子, 中村貴, 原田 卓, 斎藤一史, 小林泰浩, 加藤茂明, 須田立雄, 宇田川信之, 高橋直之

歯槽骨吸収モデルに対するW9ペプチドの改善効果: 小出雅則, 尾崎友輝, 古屋優理子, 二宮 禎, 保田尚孝, 中村美どり, 吉成伸夫, 高橋直之, 宇田川信之, 吉成伸夫

春季日本歯周病学会学術大会 (第59回) 2016年5月

W9ペプチドはOPG遺伝子欠損マウスの歯槽骨吸収を改善する: 尾崎友輝, 小出雅則, 宇田川信之, 吉成伸夫

骨吸収はsclerostinの発現低下を介して骨形成を促進する: 小出雅則, 尾崎友輝, 吉成伸夫, 石原裕一, 宇田川信之

骨免疫学会 (第2回) 2016年7月

WntアンタゴニストSfrp5は, 関節炎による骨破壊を抑制する: 小林泰浩, 中村幸男, 加藤博之, 宇田川



信之, 高橋直之

オステオプロテグリン欠損マウスに対するカテプシン K 阻害剤投与: 中村美どり, 中道裕子, 溝口利英, 小林泰浩, 高橋直之, 宇田川信之

Pkn3は Ror2-Rho シグナルの下流で c-Src を介して破骨細胞の骨吸収を制御する: 上原俊介, 山下照仁, 中村 貴, 加藤茂明, 宇田川信之, 高橋直之, 小林泰浩

日本骨代謝学会学術集会 (第34回) & アジア太平洋骨代謝学会議 (第3回) 2016年7月

Wnt5-Ror2シグナルによって活性化される Rho-PKN3経路は c-Src を介して骨吸収を調節する: 上原俊介, 山下照仁, 中村 貴, 加藤茂明, 宇田川信之, 高橋直之, 小林泰浩 (第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p174, O-07)

Roles of chemokine-mediated signaling in architectural function of osteoclasts: 李 智媛, 星野昭芳, 井上和樹, 上原俊介, 小林泰浩, 山口 朗, 今井祐記, 飯村忠浩 (第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p130)

関節炎による Sfrp5の発現低下は Wnt5a による骨吸収を亢進させる: 中村幸男, 前田和洋, 加藤博之, 宇田川信之, 高橋直之, 小林泰浩 (第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p178, O-24)

PTH アナボリック作用に対する骨髄間葉系幹細胞の寄与: 楊 孟雨, 溝口利英, 宇田川信之, 松尾光一, 小守壽文, 森石武史, 小林泰浩, 高橋直之 (第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p193, O-083)

ビタミン D の骨量増加の薬理作用は, 破骨細胞ではなく骨芽細胞の VDR を介する: 中道裕子, 溝口利英, 山本陽子, 中村 貴, 細矢明宏, 堀部寛治, 原田 卓, 斎藤一史, 加藤茂明, 須田立雄, 宇田川信之, 高橋直之 (第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p181, O-035)

カテプシン K 阻害剤投与は, オステオプロテグリン欠損マウスにおいて, 骨吸収抑制と共に骨形成促進作用を示す: 中村美どり, 中道裕子, 溝口利英, 小林泰浩, 高橋直之, 宇田川信之 (第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p195, O-092)

Annexin a5による腱・靱帯付着部 (enthesis) における軟骨層の肥大化と石灰化の調節: 島田明美, 新井嘉則, 和田悟史, 出野 尚, 中島和久, 小松浩一郎, 山下照仁, 江面陽一, 網塚憲生, 中村芳樹, 二藤 彰 (第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p214, P1-56)

歯科基礎医学会学術大会 (第58回) 2016年8月

Wnt5-Ror2シグナルは Rho-PKN3-c-Src 経路を介して破骨細胞の骨吸収活性を制御する: 上原俊介, 山下照仁, 宇田川信之, 高橋直之, 小林泰浩 (第58回歯科基礎医学会学術大会抄録集: p268, O2-D24)

W9ペプチドのヒト破骨細胞分化抑制作用と骨芽細胞分化促進作用: 中村美どり, 小出雅則, 山下照仁,

小林泰浩, 高橋直之, 宇田川信之 (第58回歯科基礎医学会学術大会抄録集: p305, P1-35)

The American Society for Bone and Mineral Research (ASBMR) 2016 Annual Meeting 2016年9月

Treatment of cathepsin K inhibitor in osteoprotegerin-deficient mice inhibits bone resorption and stimulates bone formation: Nakamura M, Nakamichi Y, Mizoguchi T, Kobayashi Y, Takahashi N and Udagawa N (Jornal of Bone Miner Res 31: p344)

日本歯科医学会総会 (第23回) 2016年10月

W9ペプチドは Osteoprotegerin 遺伝子欠損マウスの歯槽骨吸収を改善する: 尾崎友輝, 小出雅則, 二宮 禎, 中村美どり, 高橋直之, 宇田川信之, 吉成伸夫

松本歯科大学学会 (第83回) 2016年12月

カテプシン K 阻害剤投与は, オステオプロテグリン欠損マウスにおいて, 骨吸収抑制と共に骨形成促進作用を示す: 宇田川信之, 中村美どり, 中道裕子, 溝口利英, 小林泰浩, 高橋直之

#### 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

小林泰浩, 高橋直之, 上原俊介, 山下照仁, 平賀徹: Wnt シグナルネットワークを基盤とした歯槽骨代謝回転制御法の開発 (基盤研究 A)

高橋直之, 小林泰浩, 中村浩彰, 南 康博, 宇田川信之, 荒 敏昭: 骨代謝共役を担うクラスロカイン-Wnt シグナルネットワークの解明 (基盤研究 B)

宇田川信之, 小出雅則, 中道裕子, 中村美どり, 溝口利英, 上原俊介: 破骨細胞からの骨形成シグナルを利用した歯周病治療薬の応用開発 (基盤研究 B)

宇田川信之, 山下照仁, 小林泰浩, 上原俊介: カルシトニン中枢神経ホルモンとして出現したか (挑戦的萌芽研究)

山下照仁, 二宮 禎, 高橋直之: 骨細胞への最終分化を方向付ける決定因子の探索 (基盤研究 C)

溝口利英, 小林泰浩, 中道裕子: 間葉系幹細胞が支持する破骨細胞前駆細胞ニッチの解析 (基盤研究 C)

小出雅則, 二宮 禎, 宇田川信之: 歯槽骨吸収モデルを用いた RANK 様ペプチドによる骨再生の試み (基盤研究 C)

中村美どり, 中村浩志, 中道裕子, 宇田川信之: 硬組織再生におけるヒト歯髄細胞の有用性に関する研究 (基盤研究 C)

中道裕子, 宇田川信之: 非典型的 Wnt 受容体 Ryk シグナルによる骨形成および骨ミネラル代謝制御機構の解明 (基盤研究 C)

平岡行博, 山下照仁, 中道裕子: 歯周病予防に向けた病原菌の生育阻害剤の開発: その基礎的研究 (挑戦的萌芽研究)

島田明美, 二藤 彰, 和田悟史, 山下照仁: アネキシン A5 による腱・靱帯と骨付着部 (enthesis) のリモデリングの制御 (基盤研究 C)

吉成伸夫, 小出雅則, 田口 明: 血清アミロイド A を介した歯周病から動脈硬化症悪化機序に対する老化への影響 (基盤研究 C)

石原裕一, 吉成伸夫, 小出雅則: クロフィブラートの IL-1Ra 産生と実験的歯周炎抑制効果に関する研究 (基盤研究 C)

二宮 禎, 小出雅則, 中村浩彰, 平賀 徹: 細胞間ミトコンドリア輸送因子 RhoT1 の歯周組織修復に対する機能解析 (基盤研究 C)

上原俊介, 小林泰浩, 細矢明宏: Pkn3 が制御する破骨細胞骨吸収機構の解明 (基盤研究 C)

荒井 敦, 小林泰浩, 山田一尋, 溝口利英: 矯正力負荷は破骨細胞前駆細胞のオートファジーを誘導するか? (基盤研究 C)

中村浩志, 八上公利, 宇田川信之, 大須賀直人, 定岡 直, 中村美どり: 植物由来低分子ポリフェノールの骨代謝改善作用 (基盤研究 C)

齋藤直人, 佐々木克典, 樽田誠一, 宇田川信之, Kim Yoong Ahm: CNT を応用した高機能生体材料創製のための CNT・生体界面技術の構築と安全性評価 (基盤研究 A)

#### その他の研究助成

高橋直之, 中道裕子: 骨芽細胞および骨細胞に発現するビタミン D 受容体 (VDR) の骨ミネラル代謝および骨形成における役割 (中外製薬株式会社, 研究活動への支援 (寄付金))

高橋直之: 新規分子標的薬の作用メカニズム研究 (第一三共株式会社との共同研究)

高橋直之, 中道裕子: 25(OH)D に関する研究 (ファンケルとの共同研究)

溝口利英: 血管内皮細胞を標的とした代謝性骨疾患治療法の開発 (三井生命厚生財団, 医学研究助成)

#### 硬組織疾患制御再建学部門

##### 遺伝子・再生工学ユニット

#### 学会発表

第82回松本歯科大学学会 2016年 7 月

*Porphyromonas gingivalis* の硫化水素産生酵素の同定およびマウス生体反応の解析: 塩屋幸樹, 中村卓, 平岡行博, 吉成伸夫, 吉田明弘

第58回歯科基礎医学会学術大会 (札幌) 2016年 8 月

マウスにおける *Porphyromonas gingivalis* の硫化水素産生酵素による生体反応の解析: 塩屋幸樹, 平岡

行博, 吉田明弘 (抄録集: p544)

#### 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

平岡行博, 山下照仁, 中道裕子: 歯周病予防に向けた病原菌の生育阻害剤の開発: その基礎的研究 (挑戦的萌芽 (代表))

#### 硬組織制御再建学部門

##### 硬組織疾患病態解析学ユニット

#### 論 文

Sakai K, Nakano K, Matsuda S, Tsujigiwa H, Ochiai T, Shoumura M, Osuga N, Hasegawa H and Kawakami T (2016) Pathological analysis of cell differentiation in cholesterol granulomas experimentally induced in mice. *Int J Med Sci* 13 : 220–4

Mimura H, Takaya T, Matsuda S, Nakano K, Muraoka R, Tomida M, Okafuji N, Fujii T and Kawakami T (2016) Functional role of HSP47 in the periodontal ligament subjected to occlusal overload in mice. *Int J Med Sci* 13 : 248–54

Matsuda S, Shoumura M, Osuga N, Tsujigiwa H, Nakano K, Okafuji N, Ochiai T, Hasegawa H and Kawakami T (2016) Migration and differentiation of GFP-transplanted bone marrow-derived cells into experimentally induced periodontal polyp in mice. *Int J Med Sci* 13 : 500–6

Matsuda S, Nakano K, Tsujigiwa H, Takabatake K, Okafuji N, Shoumura M, Osuga N, Nagatsuka H and Kawakami T (2016) Overview of cytological dynamics of periodontal ligament inflammatory lesions. *Int J Dent Oral Sci* S9 : 001, 1–7

Ueda Y, Nakano K, Ochiai T, Yoshida W, Sugita Y, Kubo K, Maeda H, Hasegawa H and Kawakami T (2016) A possible functional role of HSP27 as a molecular chaperone of Wnt1 in cell differentiation of pleomorphic adenomas. *Int J Dent Oral Sci* 3 : 340–3

#### 学会発表

American (45th) and Canadian (40th) Association for Dental Research, Los Angeles, CA, USA 2016年 3 月

Muraoka R, Nakano K, Yamada K and Kawakami T: HSP70 expression as recovery reaction in the mouse periodontal tissues (Abstract #1429; Web Abstract; <https://aadr2016.zerista.com/poster/member/56320>; <https://aadr2016.zerista.com/event/>

member/238712)

日本病理学会総会（第105回）（仙台）2016年5月  
多形腺腫のWntによる細胞分化におけるHSPの分子シャペロンとしての可能性：中野敬介，上田優貴子，杉田好彦，久保勝俊，前田初彦，川上敏行，松田寛之，辻松，長塚 仁（日病会誌 **105**(1)：423, 2016)

日本臨床口腔病理学会総会（27回）（広島）2016年8月

エナメル上皮線維腫におけるWntの免疫組織化学的検討：中野敬介，高畠清文，浜田芽衣，藤井昌江，吉田和加，杉田好彦，久保勝俊，前田初彦，川上敏行，長塚 仁（プログラム抄録集：p163, P-06-2）

硬組織再生生物学会総会（25回）（東京）2016年8月

ラット皮下組織における吸収性縫合糸に対する組織反応：中安喜一，松田紗衣佳，正村正仁，大須賀直人，川上敏行（J Hard Tissue Biol **25**：400, 2016；プログラム抄録集：p42）

コレステリン肉芽腫における骨髓由来の血管内皮細胞の増殖：松田紗衣佳，中野敬介，正村正仁，大須賀直人，落合隆永，辻極秀次，長塚 仁，長谷川博雅，川上敏行（J Hard Tissue Biol **25**：400, 2016；プログラム抄録集：p43）

歯科基礎医学会総会（58回）（札幌）2016年8月

中安喜一，松田紗衣佳，正村正仁，大須賀直人，川上敏行：吸収性縫合糸に対するラット皮下組織の反応（J Oral Biosci **58**(S)：385, 2016）

日本口腔科学会中部地方部会（59回）（塩尻）2016年9月

多形腺腫におけるWntシグナルと細胞分化：上田優貴子，中野敬介，鳥井 康，吉田和加，杉田好彦，久保勝俊，前田初彦，長谷川博雅，川上敏行（プログラム抄録集：p23）

歯科矯正学的メカニカルストレスによる歯周組織の改造：金子圭子，松田紗衣佳，村岡理奈，中野敬介，富田美穂子，辻極秀次，長塚 仁，川上敏行（プログラム抄録集：p25）

メカニカルストレスが惹起するマウス歯根膜の傷害と回復におけるHSP70の発現推移：村岡理奈，中野敬介，山田一尋，川上敏行（プログラム抄録集：p25）

実験的咬合性外傷部の歯根膜組織におけるHSP47の発現推移：三村泰亮，高谷達夫，中野敬介，松田紗衣佳，富田美穂子，岡藤範正，藤井健男，川上敏行（プログラム抄録集：p26）

実験的咬合性外傷の歯根膜部における創傷と治癒：高谷達夫，三村泰亮，松田紗衣佳，中野敬介，辻極秀次，富田美穂子，岡藤範正，藤井健男，川上敏行（プログラム抄録集：p27）

歯髄における傷害反応とその回復におけるHSPの発現：齊藤進之介，鍋山篤史，中野敬介，岡藤範正，

川上敏行（プログラム抄録集：p28）

骨髓間葉細胞由来の血管内皮細胞の実験的コレステリン肉芽腫における増殖：松田紗衣佳，中野敬介，正村正仁，大須賀直人，落合隆永，辻極秀次，長塚 仁，長谷川博雅，川上敏行（プログラム抄録集：p28）

吸収性縫合糸に対するラットにおける組織反応の病理組織学的検討：中安喜一，松田紗衣佳，正村正仁，大須賀直人，川上敏行（プログラム抄録集：p29）

European Association of Oral Medicine (13th) Torino, Italy 2016年9月

Cell migration and differentiation of BMDCs into periodontal polyp: Matsuda S, Shoumura M, Osuga N, Tsujigiwa H, Nakano K, Okafuji N, Ochiai T, Hasegawa H and Kawakami T (A07; Oral Dis **22** (S2)：11, 2016)

HSP70 in recovery of the mouse PDL by mechanical stress: Muraoka R, Nakano K, Yamada K and Kawakami T (A12; Oral Dis **22**(S2)：12, 2016)

Notch act as cell differentiation factor in pleomorphic adenomas: Kawakami T, Nakano K, Ochiai T, Sugita Y, Kubo K, Maeda H and Hasegawa H (B091; Oral Dis **22**(S2)：34, 2016)

日本矯正歯科学会大会（第75回）（徳島）2016年11月

歯科矯正学的メカニカルストレスが引き起こすマウス歯根膜におけるHSP70の免疫組織化学的発現推移：村岡理奈，中野敬介，川上敏行，山田一尋（プログラム抄録集：p187）

日本病理学会秋期特別総会（第62回）（金沢）2016年11月

P1-14. 正常顎下腺におけるmammaglobin産生細胞の分布：嶋田勝光，落合隆永，川上敏行，長谷川博雅（Program P4；日病会誌 **105**(2)：79, 2016）

日本口腔外科学会総会（61回）（千葉）2016年11月  
多形腺腫においてHSP27がWnt1の分子シャペロンとしての機能的役割の可能性：上田優貴子，中野敬介，落合隆永，杉田好彦，久保勝俊，前田初彦，長谷川博雅，川上敏行（日口外誌 **62**(S)：275, 2016）

## 講演

日本口腔科学会中部地方部会（59回）（塩尻）2016年9月

特別セミナー：歯周組織の傷害と修復のメカニズム—発生生物学の視点から—：川上敏行（プログラム抄録集：p13）

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

川上敏行，中野敬介，富田美穂子，辻極秀次：骨



髄幹細胞移植を用いた口腔の増殖性病変における細胞分化の分子調節機構の解明 (基盤研究 C)

中野敬介, 川上敏行, 辻極秀次, 村岡理奈: 骨髄幹細胞を用いた組織修復およびリモデリングの促進とその分子調節機構の解明 (基盤研究 C)

富田美穂子, 川上敏行, 寺田智新: ストレスによる生体反応が痛覚伝導路に与える影響 (基盤研究 C)

正村正仁, 中野敬介, 辻極秀次, 川上敏行, 大須賀直人: 象牙質歯髄複合体の修復における骨髄間葉系細胞の関与 (基盤研究 C)

## 硬組織疾患制御再建学部門

### 生体材料学ユニット

## 著 書

黒岩昭弘 (2016) 全部床義歯学サイドリーダー 第5版 学建書院

黒岩昭弘 (分担執筆) (2016) スタンダードパースャルデンチャー補綴学 学建書院

黒岩昭弘 (分担執筆) (2016) 無菌顎補綴治療学 第3版 医歯薬出版

永澤 栄 (分担執筆) (2016) スタンダード歯科理工学 第6版 学建書院

## 対 談

岩崎貢士, 黒岩昭弘, 尾崎洋美, 鈴木宏樹, 湯田亜希子 (2016) 生活を支える歯科医療. 日本顎咬合学誌 36(3): 272-82

## 論 文 発 表

Ito K, Turcotte R, Cui J, Zimmerman SE, Pinho S, Mizoguchi T, Arai F, Runnels JM, Alt C, Teruya-Feldstein J, Mar JC, Singh R, Suda T, Lin CP, Frenette PS and Ito K (2016) Self-renewal of a purified Tie2+ hematopoietic stem cell population relies on mitochondrial clearance. Science 354: 1156-60

Thirukonda GJ, Uehara S, Nakayama T, Yamashita T, Nakamura Y, Mizoguchi T, Takahashi N, Yagami K, Udagawa N and Kobayashi Y (2016) The dynamin inhibitor dynasore inhibits bone resorption by rapidly disrupting actin rings of osteoclasts. J Bone Miner Metab 34: 395-405

## 特 別 講 演

SKIP (Stem cell Knowledge and Information

Portal) セミナー (第26回) 2016年 2月

細胞系譜解析による生体内における骨髄間葉系幹細胞の同定と機能解明: 溝口利英

第29回日本軟骨代謝学会 2016年 2月

発生過程における骨髄間葉系幹細胞の起源: 溝口利英

口腔医科学フロンティア研究会 (第1回) 2016年 2月

細胞系譜解析による生体内における骨髄間葉系幹細胞の同定と機能解明: 溝口利英

日本炎症再生医学会2016年 6月 (第37回)

細胞系譜解析による生体内における骨髄間葉系幹細胞の同定と機能解明: 溝口利英

日本骨代謝学会 (第34回) 2016年 7月

破骨細胞と骨芽細胞の起源: 溝口利英

歯科基礎医学会学術大 (第58回) 2016年 8月

細胞系譜解析による生体内における骨髄間葉系幹細胞の解析: 溝口利英

Craniofacial and Stem Cell Biology Seminar (第2回) ECM Society (第153回) 2016年10月

生体内における骨髄間葉系幹細胞の同定と制御機構の解析: 溝口利英

## 学 会 発 表

日本骨免疫学会ウインターセミナー (第1回) 2016年 1月

PTH アナボリック作用に対する骨髄間葉系幹細胞の寄与: 楊 孟雨, 溝口利英, 西田大輔, 小林泰浩, 松尾光一, 下田耕治, 宇田川信之, 高橋直之

生体内における骨髄間葉系幹細胞の骨芽細胞分化機構: 溝口利英, 楊 孟雨, 荒井 敦, 小守壽文, 森石武史, 小守寿人, 宇田川信之, 高橋直之

オステオプロテグリン欠損マウスに対するカテプシン K 阻害剤投与実験: 宇田川信之, 中村美どり, 中道裕子, 溝口利英, 小林泰浩, 高橋直之

活性型ビタミン D による骨量上昇の薬理作用は, 骨芽細胞系列のビタミン D 受容体 (VDR) を介して発揮される: 中道裕子, 溝口利英, 山本陽子, 中村貴, 原田 卓, 斎藤一史, 小林泰浩, 加藤茂明, 須田立雄, 宇田川信之, 高橋直之

第34回日本顎咬合学会学術大会 2016年 6月

部分床義歯を安定化する Tips: 黒岩昭弘

第34回日本顎咬合学会学術大会 2016年 6月

全部床義歯の合理的な人工歯排列を再考する: 黒岩昭弘

日本骨代謝学会 (第34回) 2016年 7月

PTH アナボリック作用に対する骨髄間葉系幹細胞の寄与: 楊 孟雨, 溝口利英, 宇田川信之, 松尾光一, 小守壽文, 森石武史, 小林泰浩, 高橋直之 (第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p193, O-083)

ビタミンDの骨量増加の薬理作用は、破骨細胞ではなく骨芽細胞のVDRを介する：中道裕子、溝口利英、山本陽子、中村 貴、細矢明宏、堀部寛治、原田 卓、斎藤一史、加藤茂明、須田立雄、宇田川信之、高橋直之（第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p181, O-035）

カテプシンK阻害剤投与は、オステオプロテグリン欠損マウスにおいて、骨吸収抑制と共に骨形成促進作用を示す：中村美どり、中道裕子、溝口利英、小林泰浩、高橋直之、宇田川信之（第34回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p195, O-092）

第46回日本口腔インプラント学会学術大会 2016年9月

緩み防止機構を持ったアバットメント・スクリーピンの効果について—非線形有限要素法による解析—：永澤 栄、竹内 賢、新村弘子、黒岩昭弘

日本補綴歯科学会平成28年度東海支部学術大会 2016年11月

CAD/CAM用レジンブロックとレジンセメントとの接着における問題点：岡崎耕典、中村典正、三溝恒幸、永澤 栄、黒岩昭弘

松本歯科大学学会（第83回）2016年12月

カテプシンK阻害剤投与は、オステオプロテグリン欠損マウスにおいて、骨吸収抑制と共に骨形成促進作用を示す：宇田川信之、中村美どり、中道裕子、溝口利英、小林泰浩、高橋直之

#### 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

溝口利英、小林泰浩、中道裕子：間葉系幹細胞が支持する破骨細胞前駆細胞ニッチの解析（基盤研究C）

#### その他の研究助成

溝口利英：血管内皮細胞を標的とした代謝性骨疾患治療法の開発（三井生命厚生財団，医学研究助成）

#### 受託研究

永澤 栄：アバットメントスクリームの緩み防止性能の解析（株式会社松風）

硬組織疾患制御再建学部門  
臨床病態評価学ユニット

#### 論文発表

Luo T, Liu H, Feng W, Liu D, Du J, Sun J, Wang W, Han X, Guo J, Amizuka N, Li X and Li M (2016) Adipocytes enhance the expression of osteoclast ad-

hesion-related molecules through CXCL12/CXCR4 signaling pathway. Cell Prolif. 2016. doi: 10.1111/cpr.12317

Li X, Wu F, Zhang Y, Yang J, Shinohara A and Kagami H (2016) Discontinuation of simvastatin lead to a rebound phenomenon and result in immediate peri-implant bone loss. Clin Exp Dent Res 2: 65-72

#### 学会発表

日本口腔インプラント学会第35回関東・甲信越支部学術大会（東京）2016年2月

再生骨移植局所の炎症サイトカインの経時的な変化に関する検討：李 憲起，千原隆弘，古田浩史，楊 静，各務秀明

第61回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会（千葉）2016年11月

T2緩和差を利用した<sup>31</sup>P-NMRによる非侵襲的な新生骨量・骨量測定法の開発：斉藤安奈，八上公利，高田匡基，井上 実，森 こず恵，李 憲起，田口明，各務秀明，芳澤享子，篠原 淳

#### 特別講演

Ceremony for the 30<sup>th</sup> anniversary of affiliation with sister school Hebei Medical University, China 2016年11月

Influence of inflammatory cytokine on osteogenesis of mesenchymal stem cells: Li X

#### 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

李 憲起：骨再生過程に及ぼす炎症の影響に関する検討（基盤研究C（代表））

李 憲起：次世代骨再生法開発のための基盤研究（基盤研究B（分担））

李 憲起：凍結細胞スフィアを用いた簡便な新規in vitro 毒性評価系評の確立（挑戦的萌芽研究（分担））

顎口腔機能制御学部門  
咀嚼機能解析学ユニット

#### 論文発表

Kaede K, Kato T, Yamaguchi M, Nakamura N, Yamada K and Masuda Y (2016) Effects of lip-closing training on maximum voluntary lip-closing force during lip pursing in healthy young adults. J Oral Rehabil 43(3): 169-75



森本 剛, 増田裕次 (2016) コーヌステレスコープ義歯を用いて22年間無理なく老化に対応している1症例—終末期に向けての快適な移行を目指して—, 日本顎咬合学会誌 36(1,2): 51-8

増田裕次 (2016) 咀嚼のメカニズム, 日本顎咬合学会誌「噛みあわせの科学」36: 48-52

### 学会発表

第93回日本生理学会大会 (札幌) 2016年3月

Cerebral blood flow during adjusting voluntary lip-closing force using the visual feedback: Masuda Y, Kurose M, Takehana Y, Okamoto K and Yamamura K (The Journal of Physiological Sciences 64 (suppl 1): S139, 2016)

日本顎口腔機能学会第56回学術大会 (鶴ヶ島) 2016年4月

外耳道ひずみの記録による簡易顎関節診断の可能性: 祁 君容, 竹花快恵, 増田裕次 (日本顎口腔機能学会誌 22(2): 2015)

口すぼめ運動の方向別難易度—口唇トレーニングシステムの開発に向けて—: 竹花快恵, 山田一尋, 増田裕次 (日本顎口腔機能学会誌 23(2): 2016)

第58回歯科基礎医学会学術大会 (札幌) 2016年8月

喉頭領域を支配する上喉頭神経における TRPV1および TRPM8チャネルの発現: 安藤 宏, 増田裕次, 北川純一 (歯科基礎医学会プログラム抄録集: 2016)

口唇随意運動時の脳活動の変化—fNIRSによる分析: 黒瀬雅之, 岡本圭一郎, 長谷川真奈, 中谷暢介, 藤井規孝, 山田好秋, 佐藤義英, 山村健介, 増田裕次 (歯科基礎医学会プログラム抄録集: 2016)

日本咀嚼学会第26回学術大会 (広島) 2016年11月

コンビニおにぎり一つの咀嚼回数に関連する要因: 安富和子, 増田裕次 (日本咀嚼学会プログラム抄録集: 2016)

外耳道のひずみで咀嚼回数をカウントする方法: 菅生秀昭, 祁 君容, 中村典正, 倉澤郁文, 増田裕次 (日本咀嚼学会プログラム抄録集: 2016)

日本矯正歯科学会大会 (第75回) (徳島) 2016年11月

口唇閉鎖調節運動における方向別難易度の特徴: 竹花快恵, 増田裕次, 影山 徹, 山田一尋 (日本矯正歯科学会大会プログラム抄録集: p170, 2016)

ビジュアルフィードバックを用いた高齢者における随意的口唇閉鎖調節能力: 土屋恵子, 楓 公士郎, 宮本剛至, 増田裕次, 山田一尋 (日本矯正歯科学会大会プログラム抄録集: p174, 2016)

第10回三叉神経感覚—運動統合機構研究会 (佐久) 2016年11月

Immunohistochemical and electrophysiological evidence of activity of TRPV1 and TRPM8 in the

superior laryngeal nerve innervating the laryngopharynx and associated laryngeal regions: Mohammad Z H, Ando H, Unno S, Kondo E, Masuda Y and Kitagawa J (第10回三叉神経感覚—運動統合機構研究会, 2016)

開発した咀嚼回数計数装置の信頼性: 菅生秀昭, 霜野良介, 長井 健, 奥村雅代, 増田裕次 (第10回三叉神経感覚—運動統合機構研究会, 2016)

### 特別講演

第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 シンポジウム—咀嚼研究のこれまでとこれから— (新潟) 2016年9月

咀嚼のメカニズム: 増田裕次

第35回日本小児歯科学会中部地方大会 教育講演 (塩尻) 2016年10月

健康咀嚼は子供から—いま何が必要か?—: 増田裕次

### 講演会

第12回新大阪臨床セミナー (大阪) 2016年2月

生涯維持したい機能「咀嚼」: 増田裕次

平成28年越谷市歯科医師会主催「歯の健康増進と食事のメニュー」 2016年3月

噛むことから始まる歯と体の健康—カムカムメニュー—: 増田裕次

長岡市・長岡歯科医師会主催「歯と食の健口ひろば」講演会 2016年6月

よく噛んで食べると健康に—歯と口の大切さ—: 増田裕次

塩尻ロマン大学 2016年7月

口は「幸せ」のもと—口腔機能の向上で健康生活: 増田裕次

高等教育コンソーシアム信州 県内大学連続市民セミナー「健康長寿を考える」2016年7月

「噛むことで健康に—食育を地域に広める—」: 増田裕次

第16回日本咀嚼学会健康咀嚼指導士認定研修会 2016年8月

咀嚼の意義と健康咀嚼指導士: 増田裕次

上伊那 歯科衛生士会セミナー 2016年11月

複雑な機能「咀嚼」: 増田裕次

### 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

増田裕次: 外耳道のひずみの計測波形から咀嚼回数を計数する装置の開発 (挑戦的萌芽研究) (代表)

増田裕次: CTと顎運動, 筋活動測定による矯正治療後の顎関節形態と顎機能の調和に関する研究 (基盤研究C (分担))

増田裕次：唾液ヒスタチンによるインフルエンザウイルス感染とその誘導性炎症の抑制機構解明（基盤研究 C（分担））

## 顎口腔機能制御学部門

### 生体調節制御学ユニット

#### 著 書

金銅英二，奥村雅代（分担執筆）（2016）日本口腔顔面痛学会編，口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック，第2版，p8-12，29-35，医歯薬出版，東京

#### 論文発表

Tadokoro O, Ando H, Kawahara I, Asanuma N, Okumura M, Kitagawa J, Kondo E and Yagasaki H (2016) Distribution and origin of VIP-, SP-, and phospholipase C $\beta$ 2-immunoreactive nerves in the tongue of the bullfrog, *Rana catesbeiana*. Anat Rec **299** : 929-42

#### 学会発表

日本解剖学会全国学術集会・総会（第121回）2016年3月

カエル舌の茸状乳頭上皮に分布する神経の形態構造解析：田所 治，大野伸彦，安藤 宏，奥村雅代，北川純一，金銅英二，矢ヶ崎 裕（講演プログラム抄録集：p194）

International Congress on Orofacial Pain 2016 2016年9月

Unknown transcripts regulated by capsaicin application in rat trigeminal ganglion: Ohki E, Okumura M, Tadokoro O and Kondo E (The Abstract book of ICOP : p123)

Heat, capsaicin sensation and TRPV1 genome SNPs in human: Okamoto N, Okumura M, Ohki E, Tadokoro O and Kondo E (The Abstract book of ICOP : p130)

16<sup>th</sup> World Congress on Pain International Association for the Study of Pain 2016年9月

Unknown transcripts regulated by capsaicin application in rat trigeminal ganglion: Ohki E, Okumura M, Tadokoro O and Kondo E (Official Congress Program : p88)

Heat, capsaicin sensation and TRPV1 genome SNPs in human: Okamoto N, Okumura M, Ohki E, Tadokoro O and Kondo E (Official Congress Program : p71)

自然科学研究機構生理学研究所研究会 2016年11

月

カエル舌の茸状乳頭上皮に分布する神経の形態構造解析：田所 治，大野伸彦，Huy Bang Nguyen，齊藤 成，安藤 宏，奥村雅代，金銅英二，矢ヶ崎裕（プログラム予稿集：p11）

松本歯科大学学会（第83回）2016年12月

内腸骨静脈が腸骨間静脈に注ぐ重複下大静脈の一例：吉田美加，渡邊剛樹，山口久穂，宮野宏子，田所治，奥村雅代，金銅英二，矢ヶ崎 裕（プログラム予稿集：p2）

#### 講演会

日本口腔顔面痛学会ベーシックセミナー 2016年6月

口腔顔面痛に必要な神経解剖の知識—基礎編—：金銅英二

校友会広島県支部学術集会 2016年10月

知っておきたい痛み・情動の話—臨床の対処法から脳のメカニズムまで—：金銅英二

## 健康増進口腔科学部門

### 口腔健康分析学ユニット

#### 論文

Hasan HA, Alam MK, Abdullah YJ, Nakano J, Yusa T, Yusof A and Osuga N (2016) 3DCT morphometric analysis of sella turcica in iraqi population. J Hard Tissue Biology **25** : 227-32

Nowrin SA, Basri R, Alam MK, Yusa T, Nakano J, Jaafar S, Mokhta KIB and Osuga N (2016) Craniofacial morphology of class III malocclusion with DUSP6 gene: mutation and non-mutation groups. J Hard Tissue Biology **25** : 247-56

Hasan HA, Mohammad Alam MK, Yusof A, Mizushima H, Kida A and Osuga N (2016) Size and morphology of sella turcica in malay populations: A 3D CT study. J Hard Tissue Biology **25** : 313-20

Massoud MMH, Alam MK, Abrahman N, Kida A, Mizushima H and Osuga N (2016) Validity and reliability of arch size measurements using laser scanned 3D model. J Hard Tissue Biology **25** : 313-20

Matsuda S, Shoumura M, Osuga N, Tsujigiwa H, Nakano K, Okafuji N, Ochiai T, Hasegawa H and Kawakami T (2016) Migration and differentiation of GFP-transplanted bone marrow-derived cells into experimentally induced periodontal polyp in mice. I Journal of Medical Science **13** : 500-6

Basri R, Alam MK, Imanishi T, Ping SY, Idrus ZMMS, Rahman HA, Shoumura M and Osuga N (2016) Functional ability of masticatory muscles in treated mandibular fracture cases using surface electromyography (sEMG). J Hard Tissue Biology 25 : 427-30

Matsuda S, Nakano K, Tsujigiwa H, Takabatake K, Okafuji N, Shoumura M, Osuga N, Nagatuka H and Kawakami T (2016) Overview of cytological dynamics of periodontal ligament inflammatory lesions. I Journal of Dentistry and Oral Science 13 : 500-6

Ohigashi S, Samizo T, Takamata T, Kagiya S, Sasayama C, Kasahara T, Kitazawa F, Taniuchi H, Shoumura M, Osuga N and Tsuchida M (2016) Fabrication of sports mouthguards from silicon rubber using the palajet injection system. The Int J of Sports Dent 9 : 72-81

Sakai K, Nakano K, Matsuda S, Tsujigiwa H, Ochai T, Shoumura M, Osuga N, Hasegawa H and Kawakami T (2016) Pathological analysis of cell differentiation in cholesterol granulomas experimentally induced in mice (International Journal of Medical Sciences 13 : 220-4)

#### 学会発表

10th Biennial Confernce of the Pediatric Dentistry Association of Asia (東京) 2015年 5月

GFP Transplanted bone marrow-derived cell migration and differentiation into periodontal polyp in mice: Matsuda S, Matsuda A, Kida A, Moriyama K, Yokoi Y, Shoumura M and Osuga N

第54回日本小児歯科学会 (東京) 2015年 5月

水溶性二酸化チタン溶液の小窩裂溝充填材への応用一ぬれ性についての検討一: 横井由紀子, 山川洋子, 山川祐喜子, 松田紗衣佳, 森山敬太, 正村正仁, 大須賀直人

第54回日本小児歯科学会 (東京) 2015年 5月

系統的脱感作法を用いて咬合誘導を行った症例: 森山敬太, 松田紗衣佳, 横井由紀子, 水島秀元, 正村正仁, 大須賀直人

第35回日本小児歯科学会中部地方会 (東京) 2015年 5月

成長期骨格性反対咬合における筋機能訓練装置の及ぼす影響とその効果: 山川祐喜子, 山川洋子, 高谷達夫, 横井由紀子, 大須賀直人

第27回日本スポーツ歯科医学会 (愛知) 2016年 6月

PALAJET SYSTEM はシリコン製マウスガードの作製に有効か? 物理・機械的試験による検討: 鷹股哲也, 鍵谷真吾, 大井俊昌, 笹山智加, 三溝

恒幸, 北澤富美, 谷内秀寿, 笠原隼男, 大東史奈, 米田紘一, 正村正仁, 大須賀直人

第27回日本スポーツ歯科医学会 (愛知) 2016年 6月

CAD/CAM を応用したスポーツフェイスガード製作法硬質シェルの造形法: 三溝恒幸, 北澤富美, 谷内秀寿, 笠原隼男, 鍵谷真吾, 大井俊昌, 笹山智加, 正村正仁, 大須賀直人, 大東史奈, 栢本大祐, 鷹股哲也

第27回日本スポーツ歯科医学会 (愛知) 2016年 6月

チェックバイトワックスを応用したシリコンラバー製マウスガードの製作コア法によるハーフデスマウスガード: 北澤富美, 三溝恒幸, 谷内秀寿, 笠原隼男, 鍵谷真吾, 大井俊昌, 笹山智加, 正村正仁, 大須賀直人, 大東史奈, 栢本大祐, 鷹股哲也

第59回日本口腔科学会中部地方会 (長野) 2015年 9月

吸収性縫合糸に対するラットにおける組織反応の病理組織学的検討: 中安喜一, 松田紗衣佳, 正村正仁, 大須賀直人, 川上敏行

第59回日本口腔科学会中部地方会 (長野) 2015年 9月

骨髄間葉細胞由来の血管内皮細胞の実験的コレステリン肉芽腫における増殖: 松田紗衣佳, 中野敬介, 正村正仁, 大須賀直人, 落合隆永, 辻極秀次, 長塚仁, 長谷川博雅, 川上敏行

13<sup>th</sup> Biennial Congress of the European Association of Oral Medicine, Torino, Italy 2016年 9月

Cell migration and differentiation of BMDCS into periodontal polyp: Matsuda S, Shoumura M, Osuga N, Tsujigiwa H, Nakano K, Okafuji N, Ochi-ai T, Hasegawa H and Kawakami T

第35回日本小児歯科学会中部地方会 (長野) 2015年 10月

コレステリン肉芽腫構成細胞の骨髄間葉細胞からの供給: 松田紗衣佳, 横井由紀子, 森山敬太, 正村正仁, 大須賀直人, 松田厚子

第35回日本小児歯科学会中部地方会 (長野) 2015年 10月

成長期骨格性反対咬合における筋機能訓練装置の及ぼす影響とその効果: 山川祐喜子, 山川洋子, 高谷達夫, 横井由紀子, 大須賀直人

第35回日本小児歯科学会中部地方会 (長野) 2015年 10月

吸収性縫合糸のラット皮下における組織反応: 中安喜一, 松田紗衣佳, 正村正仁, 大須賀直人

#### 講演

京都市左京歯科医師会学術講演会 (京都) 2016年 2月



明日からの臨床に役立つマウスガードの話し：  
正村正仁

こどもの健康週間（長野）2016年10月

小児歯科診療に於ける最近の動向：大須賀直人，  
正村正仁

#### 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

中村浩志，定岡 直，大須賀直人，宇田川信之，  
八上公利，中村美どり：植物由来低分子ポリフェノール  
の骨代謝改善作用（基盤研究 C）

八上公利，中村浩志，定岡 直，川原一郎：ナノ  
アパタイトとショートコラーゲンによるドラッグデリ  
バリーシステム人工骨の開発（基盤研究 C）

中村美どり，宇田川信之，中村浩志，中道裕子，  
溝口利英，大須賀直人：硬組織再生におけるヒト歯  
髓細胞の有用性に関する研究（基盤研究 C）

正村正仁，大須賀直人，川上敏行，辻極秀次，  
中野敬介，長塚 仁：象牙質・歯髓複合体の修復反  
応における骨髄間葉系細胞の関与（基盤研究 C）

#### 健康増進口腔科学部門

##### 口腔健康政策学ユニット

#### 論文発表

Li X, Wu F, Zhang Y, Yang J, Shinohara A and  
Kagami H (2016) Discontinuation of simvastatin  
lead to a rebound phenomenon and result in immed-  
iate peri-implant bone loss. Clin Exp Dent Res 2:  
65-72

宮原康太，小笠原 正，篠塚功一，岩崎仁史，松村  
康平，岡田芳幸，靱島弘之，藤田恵未，角 保徳  
(2016) ジェルタイプの保湿剤を用いた介助歯磨き後  
の唾液中細菌数の増減。日本障害者歯科学雑誌 37:  
16-21

篠塚功一，小笠原 正，岩崎仁史，磯野員達，轟  
かほる，岡田芳幸，靱島弘之，沈 發智，嶋田勝光，  
落合隆永，長谷川博雅，柿木保明 (2016) 経管栄養  
の要介護者にみられる咽頭付着物の形成要因。障害  
者歯科 37: 22-7

三井達久，小笠原 正，磯野員達，鈴木智子，  
伊沢正行，鈴木貴之，靱島弘之，岡田芳幸 (2016)  
亜酸化窒素吸入鎮静法における臨床症状の発現時間  
歯科治療前の吸入時間は何分必要か？ 障害者歯科  
37: 127-33

守谷恵未，松山美和，犬飼順子，道脇幸博，岩淵  
博史，小笠原 正，松尾浩一郎，角 保徳 (2016)  
口腔ケア時の誤嚥予防の試み 口腔ケア用ジェルの  
新規開発。日本老年医学会雑誌 53: 347-53

岩崎仁史，小笠原 正，篠塚功一，轟 かほる，

小澤 章，岡田芳幸，靱島弘之，沈 發智，落合  
隆永，長谷川博雅，柿木保明 (2016) 口腔の剥離上  
皮膜に対する保湿剤の予防効果の検討。日本摂食嚥  
下リハビリテーション学会雑誌 20: 86-93

#### 学会発表

日本口腔インプラント学会第35回関東・甲信越支  
部学術大会（東京）2016年 2 月

再生骨移植局部の炎症サイトカインの経時的な変  
化に関する検討：李 憲起，千原隆弘，古田浩史，  
楊 静，各務秀明

Korean Association for Disability and Oral  
Health 2016 2016年 4 月

The study of preventing the formation of mem-  
branous substances by using moisturizer in the  
oral cavity of elderly individuals with tube-feeding:  
Miyahara K, Iwasaki H, Shinotsuka K, Ishihara N,  
Higuchi Y, Izawa M, Okada Y, Haishima H, Shima-  
da K, Ochiai T, Hasegawa H and Ogasawara T

日本老年歯科医学会（第27回）2016年 6 月

経管栄養の要介護高齢者にみられる剥離上皮膜の  
由来：宮原康太，篠塚功一，岩崎仁史，伊沢正行，  
岡田芳幸，靱島弘之，嶋田勝光，落合隆永，長谷川  
博雅，藤井 航，柿木保明，小笠原 正

日本摂食・嚥下リハビリテーション学会（第22回）  
2016年 9 月

経管栄養の要介護高齢者にみられる付着物の由来  
—痰と言われているが？—：宮原康太，篠塚功一，  
脇本仁奈，嶋田勝光，落合隆永，靱島弘之，長谷川  
博雅，小笠原 正

咽頭の多量の付着物の除去を契機に摂食が可能と  
なった要介護高齢者の一例：石原紀彰，岩崎仁史，  
井上恭代，伊沢正行，磯野員達，岡田芳幸，靱島  
弘之，小笠原 正

日本障害者歯科学会（第33回）2016年 9 月

中枢性運動障害者における歯科治療時の過緊張緩  
和に上田法は有効か？ 第3報—筋緊張の経時的変  
化—：伊沢正行，望月慎恭，宮原康太，大岩隆則，  
上出清恵，佐々木隆子，小柴慶一，西連寺央康，  
岡田芳幸，靱島弘之，小笠原 正

笑気吸入鎮静による圧反射感受性への影響：磯野  
員達，岡田芳幸，三井達久，高井経之，靱島弘之，  
小笠原 正

障害者における Oral Health Assessment Tool 日  
本語版の有用性の検討：岩崎仁史，石原紀彰，樋口  
雄大，伊沢正行，三井達久，松村東栄，岡田芳幸，  
靱島弘之，中川量晴，松尾浩一郎，小笠原 正

知的障害の意思決定支援の検討—全身麻酔と身体  
拘束は理解できるか—：鈴木貴之，大槻征久，大槻  
真理子，岩崎仁史，岡田尚則，望月慎恭，小島広臣，  
高井経之，岡田芳幸，靱島弘之，緒方克也，小笠原

正

笑気吸入鎮静法における臨床徴候発現時と自律神経調節との関連—直接測定と間接測定を併用して—：三井達久，樋口雄大，磯野員達，岩谷和大，河瀬聡一郎，岡田芳幸，靛島弘之，小笠原 正

口腔の剥離上皮膜がみられる患者にカンジダ菌は存在するか？—病理学的・細菌学的検討—：宮原康太，篠塚功一，石原紀彰，松村康平，久野 喬，塚田久美子，福澤雄司，井上恭代，副島之彦，嶋田勝光，落合隆永，長谷川博雅，岡田芳幸，靛島弘之，小笠原 正

喉頭の垂直的位置の加齢変化—簡易法を用いた計測—：靛島弘之，磯野員達，鈴木貴之，三井達久，脇本仁奈，河瀬瑞穂，河瀬聡一郎，山田晋司，牧井覚万，岡田芳幸，小笠原 正

経管栄養の要介護高齢者にみられる咽頭の付着物は何か？：樋口雄大，篠塚功一，宮原康太，轟かほる，守谷恵未，嶋田勝光，落合隆永，長谷川博雅，藤井 航，柿木保明，大野友久，角 保徳，岡田芳幸，靛島弘之，小笠原 正

印象体の効果的な洗浄についての検討：三澤美幸，田中春菜，内田清美，石原紀彰，木村莉子，那須小夢樹，植松紳一郎，三井達久，三井理恵子，三井貴信，宮原康太，渡部義基，岩崎仁史，岡田芳幸，小笠原 正

重症心身障害児・者にみられる臼歯部歯肉形態異常の発現頻度と各項目との関連性：脇本仁奈，伊沢正行，山田晋司，穂坂一夫，薦田 智，鈴木尚子，安東信行，西山孝宏，岡田尚則，岡田芳幸，靛島弘之，小笠原 正

当センターにおける障がい者歯科診療20年の動向と今後の課題：清水久哉，八尾正己，木山力哉，阪本博文，小川真史，小笠原 正

2016年第6回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・新潟（第1報）—スペシャルスマイルズの活動概要—：永井正志，豊里 晃，石黒千代栄，山田亮子，有松美紀子，大島邦子，島田路征，大橋 誠，小笠原 正，江草正彦，宮城 敦

2016年第6回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・新潟（第2報）—第5回参加アスリートの口腔内状況との比較—：豊里 晃，永井正志，石黒千代栄，山田亮子，有松美紀子，大島邦子，大橋 誠，島田路征，荒井節男，小笠原 正，江草正彦，宮城 敦

2016年第6回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・新潟（第3報）—ボランティアへのアンケート—：大橋 誠，永井正志，豊里 晃，石黒千代栄，山田亮子，有松美紀子，大島邦子，島田路征，高橋靖之，荒井節男，小笠原 正，江草正彦，宮城 敦

北信越障害者歯科臨床研究会（第7回）2016年6月

咽頭の多量の付着物の除去を契機に摂食が可能となった要介護高齢者の一例：石原紀彰，伊沢正行，鈴木貴之，宮原康太，岡田芳幸，靛島弘之，小笠原 正

中部歯科麻酔研究会（第51回）2016年6月  
笑気吸入鎮静は圧受容器反射感受性を維持する：磯野員達，岡田芳幸，三井達久，小笠原 正

松本歯科大学学会（第82回）2016年7月  
中枢性運動障害者における歯科治療時の過緊張緩和のための非薬物的方法の検討：伊沢正行，宮原康太，望月慎恭，岡田芳幸，靛島弘之，増田裕次，小笠原 正

疼痛時昇圧応答抑制に対する笑気吸入鎮静法の効果：磯野員達，岡田芳幸，三井達久，増田裕二，小笠原 正

経管栄養の要介護高齢者にみられる口腔の剥離上皮膜と咽頭の付着物の由来：宮原康太，篠塚功一，岩崎仁史，鈴木貴之，伊沢正行，嶋田勝光，落合隆永，岡田芳幸，靛島弘之，長谷川博雅，小笠原 正

## 特別講演

第7回関東臨床障害者歯科研究会（甲府）2016年7月

「自閉スペクトラム症患者の行動調整～地域での見極め～」：小笠原 正

第28回日本レーザー歯学会総会・学術大会（名古屋）2016年7月

「超高齢者・有病高齢者の歯科診療 リスクマネジメントとクライスマネジメント」：小笠原 正

Official hearing in Taiwan（台北）2016年9月

「The specialist system in Japan's special needs dentistry」：小笠原 正

The 20th General Assembly, 39th Annual Scientific Meeting and Dental Exhibition（台北）2016年9月

「The Japanese experience in oral health and care for the special needs from the past to the future」：小笠原 正

第21回福岡県学校歯科保健研究大会（福岡）2016年11月

「学校歯科検診で必要な知識と対応」：小笠原 正

## 講演会

長野県保険医協会（長野）2016年1月

「歯援施設施設基準にかかる講習会」：小笠原 正

平塚市高齢者歯科講演会（平塚）2016年2月

「安全な訪問歯科診療」：小笠原 正

文京区障害者歯科治療事業の協力医研修会（東京）2016年2月

「障害者歯科における見極め」：小笠原 正  
 塩筑 医療と介護ネットワーク研究会（塩尻）2016年3月  
 「摂食嚥下障害への対応」：小笠原 正  
 長野県歯科医師会講演（塩尻）2016年3月  
 「認知症患者に対する歯科診療」：小笠原 正  
 中信支部歯科衛生士会（松本）2016年5月  
 「院内感染防止対策～自分の体を守るために～」：小笠原 正  
 諏訪市歯科医師会学術部救急医療講習会 2016年6月  
 「医療安全講習会」：小笠原 正，磯野員達，伊沢正行，岩崎仁史，三井達久  
 香川県保険医協会（高松）2016年6月  
 「院内感染防止対策，医療安全」：小笠原 正  
 新潟県歯科医師会認定障害者診療医養成事業アドバンスコース（新潟）2016年7月  
 「スペシャルニーズのある人への歯科治療地域でできること」：小笠原 正  
 長野県保険医協会（長野）2016年7月  
 「外来環講習会 院内感染，医療事故，緊急時の対応」：小笠原 正  
 沖縄県障害者歯科地域協力医研修制度（沖縄）2016年7月  
 「治療計画立案」：小笠原 正  
 長野県歯科医師会講演（塩尻）2016年8月  
 「在宅医療，医療安全」：小笠原 正  
 安曇野市歯科医師会講演（安曇野）2016年10月  
 「院内感染，緊急時対応」：小笠原 正  
 松本歯科大学校友会山梨県支部（甲府）2016年10

月  
 「認知症の理解と対応」：小笠原 正  
 香川県保険医協会（高松）2016年10月  
 「認知症の理解と歯科的対応」：小笠原 正  
 鳥取県西部歯科医師会講演 2016年11月  
 「障害者歯科のトピックス」：小笠原 正  
 松本歯科大学校友会新潟県支部（新潟）2016年11月  
 「要介護高齢者に対する訪問歯科診療のポイント」：小笠原 正  
 山梨県歯科医師会障害者歯科センター講演（甲府）2016年11月  
 「鎮静法の使い分けとメリット，デメリット，リスク」：小笠原 正  
 長野県保険医協会（長野）2016年12月  
 「歯科訪問診療の在宅療養支援歯科診療所（歯援診）対応研修会」：小笠原 正  
 大学・地域連携事業（塩尻）2016年1月

#### 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

小笠原 正，長谷川博雅，落合隆永，柿木保明：  
 口腔乾燥の要介護高齢者における咽頭の汚染物の病態解明と予防法の確立（基盤研究 C（代表研究者））

#### その他の研究補助金による研究

平成28年度長寿医療研究開発費  
 小笠原 正：要介護高齢者の QOL 向上を目指した口腔機能に関する研究